

草津市産業振興計画に関連する取組について

(独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部 (立命館大学 BKC インキュベータ))

関連する項目	戦略1 : イノベーションの創出支援
	施策1 : 創業・第二創業の促進
	主な取組事例 : 立命館大学 B K C インキュベータの創業支援
<p>※貴団体で実施されている上記の取組について御紹介ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中小機構の創業支援 2. 立命館大学 B K C インキュベータの創業支援 3. 多くのスタートアップが卒業し草津市に定着するために 	

中小機構・ 立命館大学BKCインキュベータ 創業・スタートアップ支援



2024年7月30日

中小企業基盤整備機構
近畿本部
立命館大学BKCインキュベータ

中小企業基盤整備機構(略称：中小機構)の支援体制

所在地：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

資本金：1兆2213億211万4469円（2024年2月2日現在）

根拠法：独立行政法人中小企業基盤整備機構法

役職員：役員13名 職員813名（2024年4月1日現在）

設立：平成16年7月
（中小企業総合事業団、地域振興整備公団、
産業基盤整備基金の三法人が統合）

主務大臣：経済産業大臣及び
財務大臣（産業基盤整備業務について共管）

目的：中小企業政策全般にわたる総合的な実施機関として、
起業・創業期から成長期、成熟期にいたるまで、
企業の成長ステージに合わせた多様な支援施策を実施

主要拠点：本部（東京）地域本部等（10ヶ所）
中小企業大学校（9校）

中小機構と支援機関ネットワーク



全国に広がるネットワーク



中小機構の特色

事業の創出

TIP * S

新しいアイデアを磨く方や創業者・創業関心者への情報提供

起業ライダーマモル

起業準備者・関心者を対象にAIが起業の質問等に回答

インキュベーション

インキュベーションマネージャーによる経営相談、産学官金連携等もサポート

FASTAR

ベンチャー企業の資金調達や事業提携に向けた伴走型の短期集中型アクセラレーター(成長加速化)支援

ファンド出資

設立5年未満の創業、成長初期段階のベンチャー企業、事業の再生等への投資を目的としたファンドに対して出資

Japan Venture Awards

次なる日本のリーダーとして果敢に挑戦する起業家を表彰

経営相談

経営相談等

経営課題に対しオンライン・対面など様々な方法で各分野の経験豊富な専門家がアドバイス

ハンズオン支援

個別の経営課題を解決するために専門家チームを派遣し支援

人材育成

大学校研修

全国9ヶ所の中小企業大学校や地域本部において、各種研修を通して人材育成をサポート

WEBeE Campus

Web会議システムや動画教材により職場にしながら受講できる研修を提供

サテライト・ゼミ

全国各地の支援機関や金融機関等と連携し、少人数参加型の研修を実施

事業の発展

海外展開支援

海外展開を検討する段階から、海外事業計画作成、海外進出まで、様々なメニューにより支援

販路開拓支援

中小企業と国内外の企業をつなぐ「J-GoodTech」、eコマースの活用などにより販路開拓をサポート

地域新事業創出

新たな商品やサービスを創出、さらなる成長を目指す企業をサポート

高度化事業

中小企業が共同で利用する施設に対し、地方自治体と連携。融資や専門家のアドバイスを実施

事業の継続

事業承継・事業引継ぎ

中小企業事業引継ぎ支援全国本部として後継者不在企業の事業引継ぎをサポート

事業再生

中小企業再生支援全国本部として中小企業の再生をサポート

共済制度

質の高いセーフティネットの提供

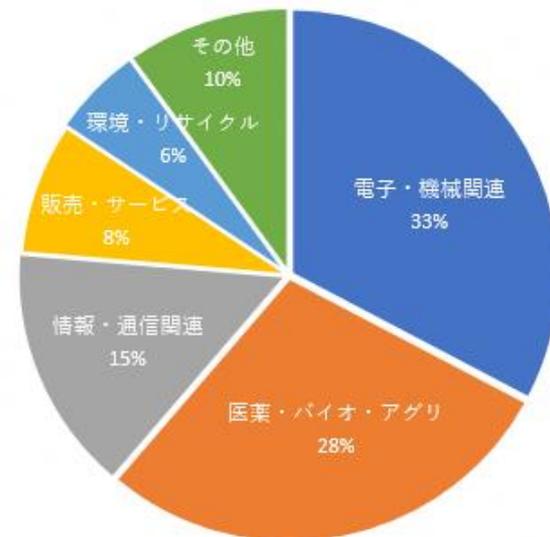
⑩ インキュベーション施設

- 中小機構のインキュベーション施設では、施設に常駐するインキュベーションマネージャー（IM）による「ソフト支援」と事業スペースの提供「ハード面の支援」の両面から、新事業創出の支援を実施
- 2001年より全国で事業を展開し、現在29施設を運営。 **【近畿地域に11施設】**
- J-StartupKANSAI、J-Startup選定企業93社**のうち、**21社(23%)**が入居企業(2024.3時点)

中小機構のインキュベーション施設 所在地



【2023年3月末現在】
 入居率：89.6%（賃貸面積ベース）
 入居社数：512社



【入居・卒業企業の活躍】
 上場企業：17社（2023年3月）
 事業所立地：20社以上 など

立命館大学BKCインキュベータ 事業概要

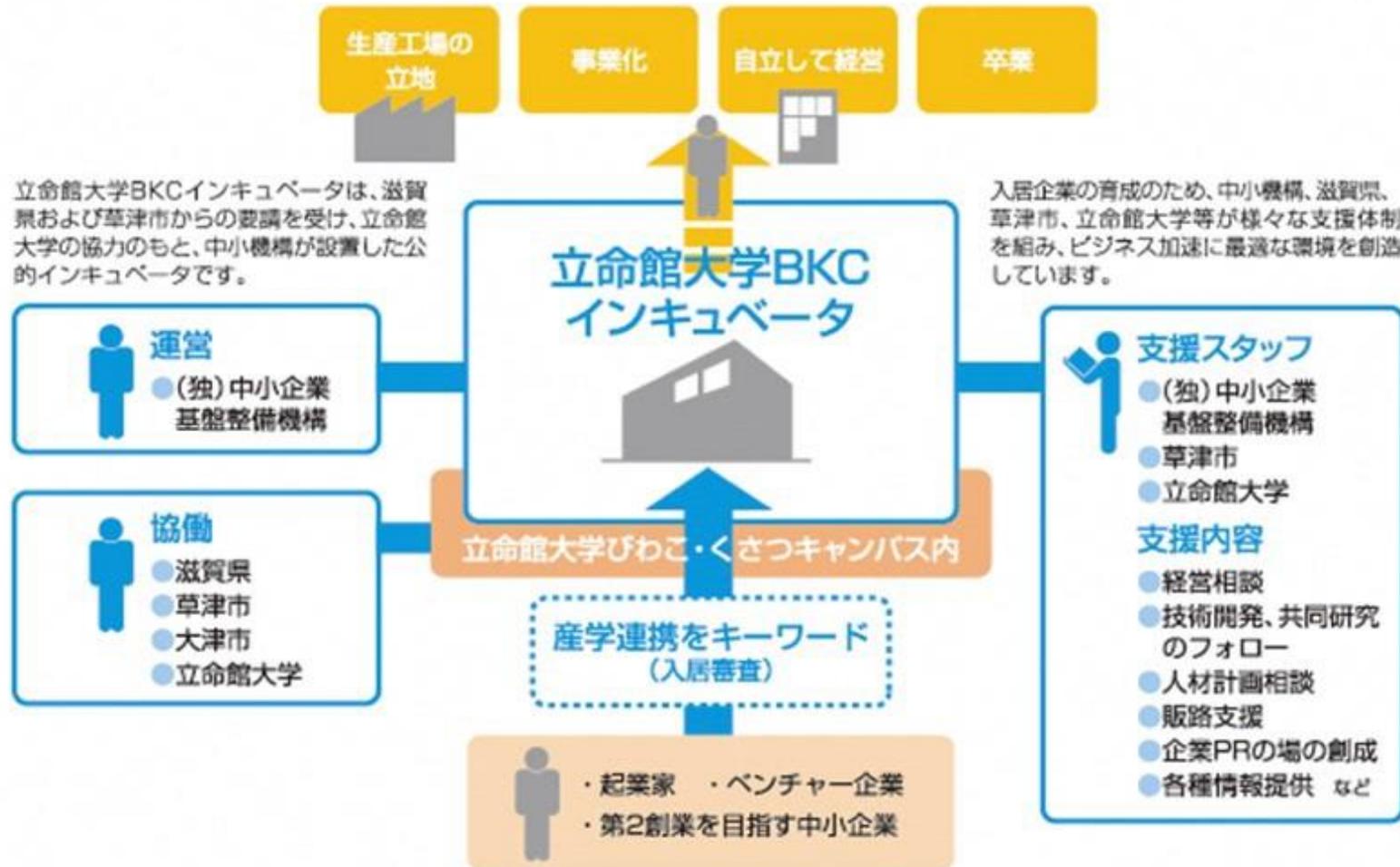
■ 事業概要

立命館大学連携型起業家育成施設（名称：立命館大学BKCインキュベータ）は、中小企業等経営強化法に基づき、滋賀県及び草津市から要請を受け、独立行政法人中小企業基盤整備機構が、2004年10月、立命館大学びわこ・くさつキャンパス内に開設した大学連携型起業家育成施設（インキュベータ）です。

立命館大学をはじめとした大学発の技術シーズの産業化を支援する施設であり、大学研究者による起業、大学連携により起業を目指す中小企業または第二創業を目指す中小企業などを支援しています。

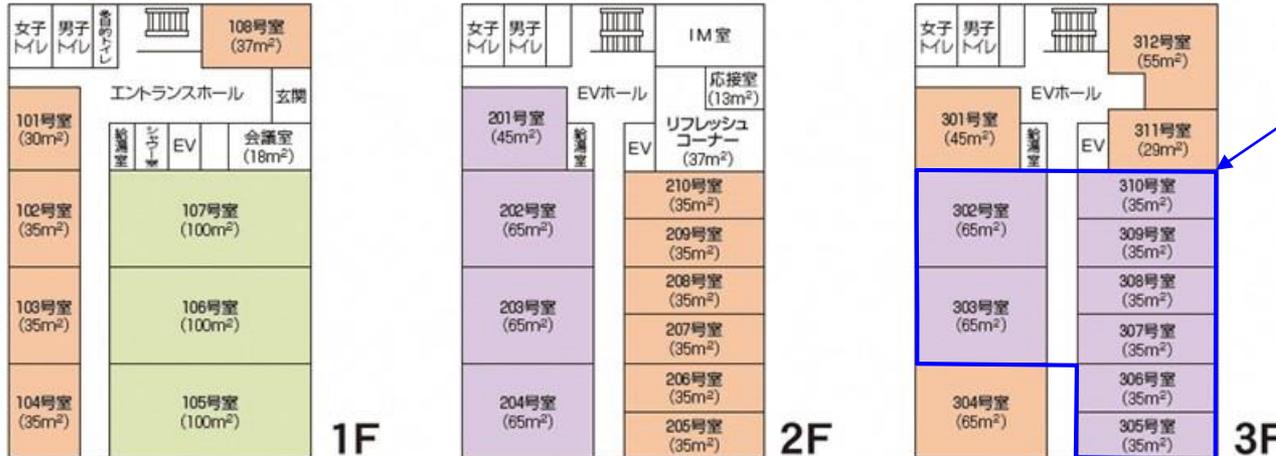
2004年10月	入居開始・開館記念式典開催
2014年8月	開設10年目 卒業・退去 47者
2024年4月	開設20年目 <u>卒業・退去 78者</u>

立命館大学BKCインキュベータの運営



施設レイアウト

■ 施設案内



2023.11.E
オフィスタイプから実験
研究室タイプへ8部屋改造



施設概要

■ 所在地:草津市野路東1-1-1 立命館大学びわこ・くさつキャンパス内 ■ 構造:鉄骨造3階建

タイプ	小規模試作開発可能オフィスタイプ								試作開発室タイプ	実験・研究室タイプ				
部屋番号	101号	102号 ~104号	108号	205号 ~210号	301号	304号	311号	312号	105号 ~107号	201号	202号 ~204号	302号 ~303号	305号 ~310号	
賃貸面積	30m ²	35m ²	37m ²	35m ²	45m ²	65m ²	29m ²	55m ²	100m ²	45m ²	65m ²	65m ²	35m ²	
天井高	3.0m								3.5m	3.0m				
耐床荷重	300kg/m ² (フリーアクセスフロア撤去:500kg/m ²)								2t/m ²	1t/m ²	500kg/m ²			
床仕上げ	フリーアクセスフロア(H=10cm)、タイルカーペット								エポキシ樹脂系塗床					
通信設備	高速通信回線(光ケーブル、VDSL)対応、電話回線完備													
空調設備	個別エアコン及び全熱交換型換気扇								個別エアコン及び給排気式機械換気(高性能フィルタ付)			個別エアコン及び全熱交換型換気扇		
電気容量	単相	9.0KVA	9.0KVA	10.0KVA	10.5KVA	12.1KVA	18.0KVA	9.0KVA	16.5KVA	30.0KVA	13.5KVA	19.5KVA	18.0KVA	10.5KVA
	三相	9.0KVA	10.4KVA	11.1KVA	10.5KVA	13.5KVA	19.5KVA	12.0KVA	22.0KVA	35.0KVA	15.8KVA	22.8KVA	19.5KVA	10.5KVA
給排水設備	-								給排水設備(実験排水)完備					
各種ユーティリティ(共用部)	コミュニケーションスペース、会議室、応接室、エレベータ、給湯室、トイレ(多目的トイレ:1F)、シャワー室、自動販売機													
警備	機械警備(各部屋にセキュリティー機器設置)													
その他	施設東側に屋外階段兼機器搬入デッキ(積載荷重=1t/m ²)設置													

- ・賃料 消費税込 3,205円/㎡(2,750円/㎡)
- ・条件を満たせば賃料補助が受けられる。滋賀県580円/㎡、草津市290円/㎡、大津市320円/㎡

2030年中期目標 累計退去企業 100社

- 質の高い入居者支援をすることにより、2030年までに累計退去企業を100社にする

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

「強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」

9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。

8 働きがいも経済成長も



目標8 働きがいも経済成長も

「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク)を促進する」

8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。

17 パートナシップで目標を達成しよう



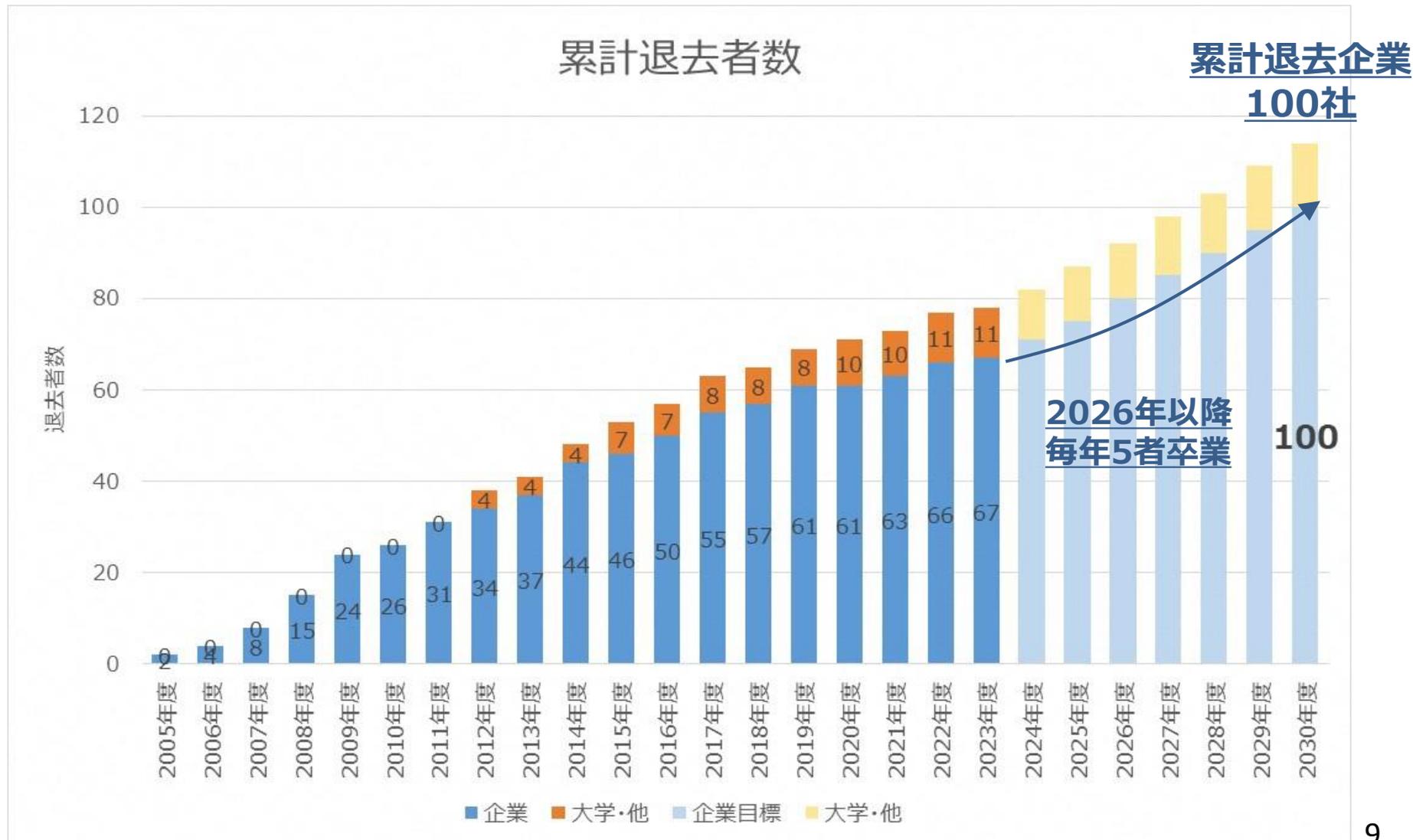
目標17 パートナシップで目標を達成しよう

「持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」

17.17さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

2030年 中期目標

■ 質の高い入居者支援により、2030年までに累計退去企業を100社にする



創業支援



事業計画

	シード	アーリー	ミドル	レイター
FASTAR	FASTAR(アクセラレーションプログラム:事業計画&資金調達)			
スタートアップ 挑戦支援事業	戦略策定・事業計画・資金調達・資本政策・顧客開拓・財務・法務等の相談			
融資(政策金融公庫+)	地方銀行		メガバンク	
助成金NEDO	NEP(開拓・躍進)	DTSU(STS → PCA → DMP)総額30億円		
販路開拓 (スタートアップ版)	販路開拓テストマーケティング事業(SU版)			
	J-GoodTech?			
	銀行系 ビジネスマッチング			

入居企業紹介(投影のみ)



多くのスタートアップが卒業し、草津市に定着するために

○立命館大学 & 草津市を中心に、スタートアップを創出し続ける仕組みを構築する

【草津市】 インキュベータ卒業企業が事業拡大できるインフラ検討開始

【立命館大学】 GIC(グラスルーツイノベーションセンタ) 2025年度開設

【中小機構】 インキュベータにて21社のスタートアップが事業立上中

